

法学研究科 2013年度 修士論文タイトル

<公法学専攻>

NO	論文題名
1	労働者の育児休業取得に係る法的課題
2	手続二分論の再検討—運用上の手続二分を中心に—
3	子どもの権利に関する日本の家庭・教育問題
4	ヴァイマル中期ドイツの秘密再軍備予算統制
5	医療専門職の憲法的統制—アメリカ医療保険改革法を中心にして—
6	過失犯論の現代的課題—いわゆる「引受け過失」をめぐって—
7	経済犯罪における罪刑均衡と実体的デュー・プロセスに関する研究—主に日中経済犯罪の比較—
8	日本への司法取引導入の可否
9	違法捜査と量刑
10	性犯罪被害者支援における課題と新しい取り組みについての検討
11	被疑者・被告人の実名が報道されることで生じる権利侵害—成人犯罪における匿名報道の実現に向けて—
12	中国におけるアンチダンピング制度の考察
13	環境行政における合理的意思決定を導く住民参加法制に関する考察
14	ドイツと日本の安全保障政策の一考察—武器輸出政策の歴史とその実情から—

<民事法学専攻>

NO	論文題名
1	三河国碧海郡伏見屋新田の小作争議に関する小論
2	契約責任の第三者効についての—考察—ドイツ法における「第三者のための保護効を伴う契約」法理を中心に—
3	株式会社における資本制度の債権者保護機能に関する研究—平成17年資本制度改革の検討—
4	患者の「自己決定権」侵害についての—考察—裁判例の変遷から—
5	生命保険金請求権と相続の関係—特別受益性を中心に—
6	特例有限会社法制における問題点—整備法9条2項を中心として—
7	加害者の帰責性と過失相殺